

第25回 臨床薬理試験研究会

テーマ

臨床薬理の未来戦略：国内実装×グローバル連携で臨床薬理を次のステージへ

日時：2026年6月20日(土) 10：00～17：00

場所：北里大学白金キャンパス プラチナタワー 12階
3125会議室

開催形式：ハイブリッド

参加費：9,000円 (WEB参加*の場合は7,000円)

*ラウンドテーブルは現地のみ参加可能で、Webではご視聴いただけません。

会長：吉次 広如

懇親会費：6,000円 (18：00～20：00)

場所：カフェラ・ボエム 白金店 <https://boheme.jp/shirogane/>



左記QRコードからPeatixよりお申し込みください。(先着順となります)



時間	タイトル	演者	演者所属
1 10:00-10:05	会長挨拶	熊谷 雄治	臨床薬理試験研究会 代表
臨床薬理試験に関する海外の動向			
座長：吉次 広如 MSD 株式会社			
2 10:05-10:25	ASCPT 2026 ハイライト：Early Development の最新潮流	蓮沼 智子	北里大学北里研究所病院
企業が日本を臨床薬理試験実施国として推奨するために			
座長：上村 尚人 大分大学 / 中野 真子 MORRIS 株式会社			
4 10:25-10:45	海外から見た日本の Phase1 試験施設	土屋 さおり	MSD 株式会社
5 10:45-11:10	日本におけるマスバランス試験の実施経験について	鈴木 佳奈恵	第一三共株式会社
6 11:10-11:35	健康成人を対象とした国際共同 Ph-1 試験の運営事例	山 祥子	MSD 株式会社
7 11:35-12:00	日本における患者早期臨床試験導入の課題と可能性	齋藤 洸平	ノバルティスファーマ株式会社
12:00-13:15	昼休憩		
日本の臨床薬理試験の幅を広げるために：患者志向 Early Phase			
座長：熊谷 雄治 臨床薬理試験研究会 代表			
8 13:15-13:40	臨床薬理試験の日本国内実績 -臨試協アンケートの Update-	降旗 謙一	臨床試験受託事業協会 学術委員会委員長
9 13:40-14:05	患者試験の経験と今後の課題 -Phase1 施設の立場から-	吉原 達也	医療法人相生会 福岡みらい病院 臨床研究センター
10 14:05-15:00	ラウンドテーブル		
15:00-15:10	休憩		
教育セッション			
座長：寺尾 公男 中外製薬株式会社			
11 15:10-15:30	臨床薬理専門医の企業内育成	田中 宜之	コンフォガーデンクリニック
12 15:30-15:50	韓国の臨床薬理学者の養成	Jae Yong Chung	ソウル大学
13 15:50-16:15	GCP 改正と治験エコシステム -臨床薬理試験への影響を中心に-	平山 清美	MSD 株式会社
14 16:15-16:35	生成 AI を “使い続けられる状態” を設計する -私たちはどう向き合っていくのか	深瀧 恭子	札幌医科大学
15 16:35-16:55	アダプティブデザインを用いた生物学的同等性試験の計画と運用上の課題	三澤 早織	日本化薬株式会社
16 16:55-17:00	クロージング	吉次 広如	MSD 株式会社

北里大学 白金キャンパス 案内図



正門入ってすぐ左手の高い建物です。

